

船舶事故調査報告書

平成30年4月18日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突（棧橋施設）
発生日時	平成29年10月26日 15時09分ごろ
発生場所	京浜港川崎第1区（JXTGエネルギー200号地第1棧橋） 川崎北防波堤灯台から真方位315° 1,500m付近 （概位 北緯35° 31.1′ 東経139° 46.0′）
事故の概要	ケミカルタンカー ^{コラル アリシア} CORAL ALICIAは、離棧作業中、棧橋のローディングアームに衝突した。
事故調査の経過	平成29年11月1日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	ケミカルタンカー CORAL ALICIA（オランダ王国籍）、6,288トン 9601754（IMO番号）、CORAL ALICIA SHIPPING B.V.
乗組員等に関する情報	船長（オランダ王国籍）、免状不詳 水先人、東京湾水先区一級水先人水先免状
負傷者	なし
損傷	本船 右舷船尾部外板に擦過傷 棧橋施設 ローディングアームに曲損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 3 海象：海上 平穏
事故の経過	本船は、船長ほか15人（オランダ王国籍1人、インドネシア共和国籍11人、ロシア連邦籍2人、ウクライナ籍1人）が乗り組み、京浜港川崎第1区において離棧作業中、水先人が水先業務に当たり、右舷着けの状態からバウスラストを使用して右舷船首部を離れた後、右舷船尾部が棧橋のローディングアームに衝突した。 水先人は、右舷船首部を離れた際、右舷船尾部と棧橋との接近状況を確認していなかったため、タグボートで左舷船尾部を引く時機を失したと本事故後に思った。
分析	本船は、離棧作業中、右舷着けの状態からバウスラストを使用して右舷船首部を離れた際、水先人が、右舷船尾部と棧橋との接近状況を確認していなかったことから、タグボートで左舷船尾部を引く時機を失し、右舷船尾部が棧橋のローディングアームに衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、離棧作業中、右舷着けの状態からバウスラストを使用して右舷船首部を離れた際、水先人が、右舷船尾部と棧橋との接近状況を確認していなかったため、タグボートで左舷船尾部を引く時機を失し、右舷船尾部が棧橋のローディングアームに衝突したものと考えられる。

参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 岸壁や棧橋から離れる際は、船首部及び船尾部との距離を確認し、バウスラスト及びタグボートを適切に使用すること。
-----------	--